

熊本市文化芸術振興に関する
市民アンケート調査 結果報告書
(概要版)

令和6年3月
熊本市

熊本市文化芸術振興に関する市民アンケート調査結果（概要）

調査概要

1. 調査の目的

- 熊本市では、文化行政を市政の中核と位置づけ、「上質な生活・文化都市くまもと」を目指すため、新たに文化芸術振興に関する計画の策定を予定している。
- 文化芸術振興に関する計画の策定にあたり、市民の文化芸術鑑賞・活動の実態や文化芸術に対する満足度、文化施設や文化施策に対するニーズ等把握するため、18 歳以上の市民に対してアンケート調査を実施した。

2. 調査対象者・方法・期間

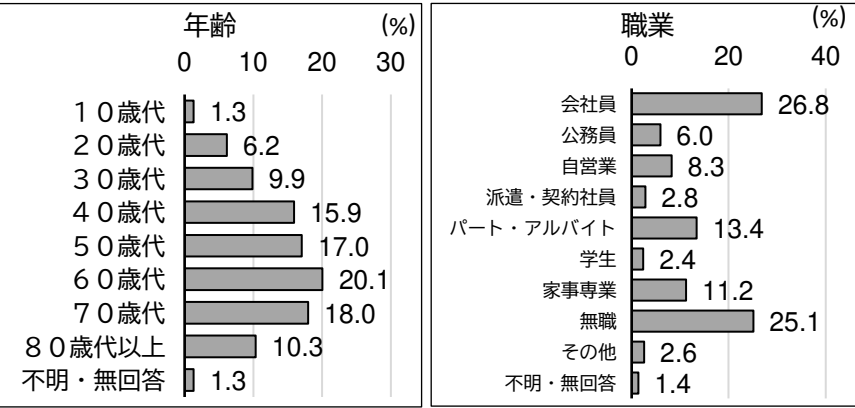
- 熊本市内在住の満 18 歳以上の市民 5,000 人（男：2,500 人、女：2,500 人）。
- 郵便による送付、郵便・ウェブアンケートによる回収。
- 令和5年9月5日～令和5年9月 29 日（締め切り後、11 月上旬郵送到着分まで回収）。

3. 回収結果

- 5,000 件配布、1,509 件回収（うち郵便 1,106 件、ウェブアンケート 403 件）、回収率 30.2%。

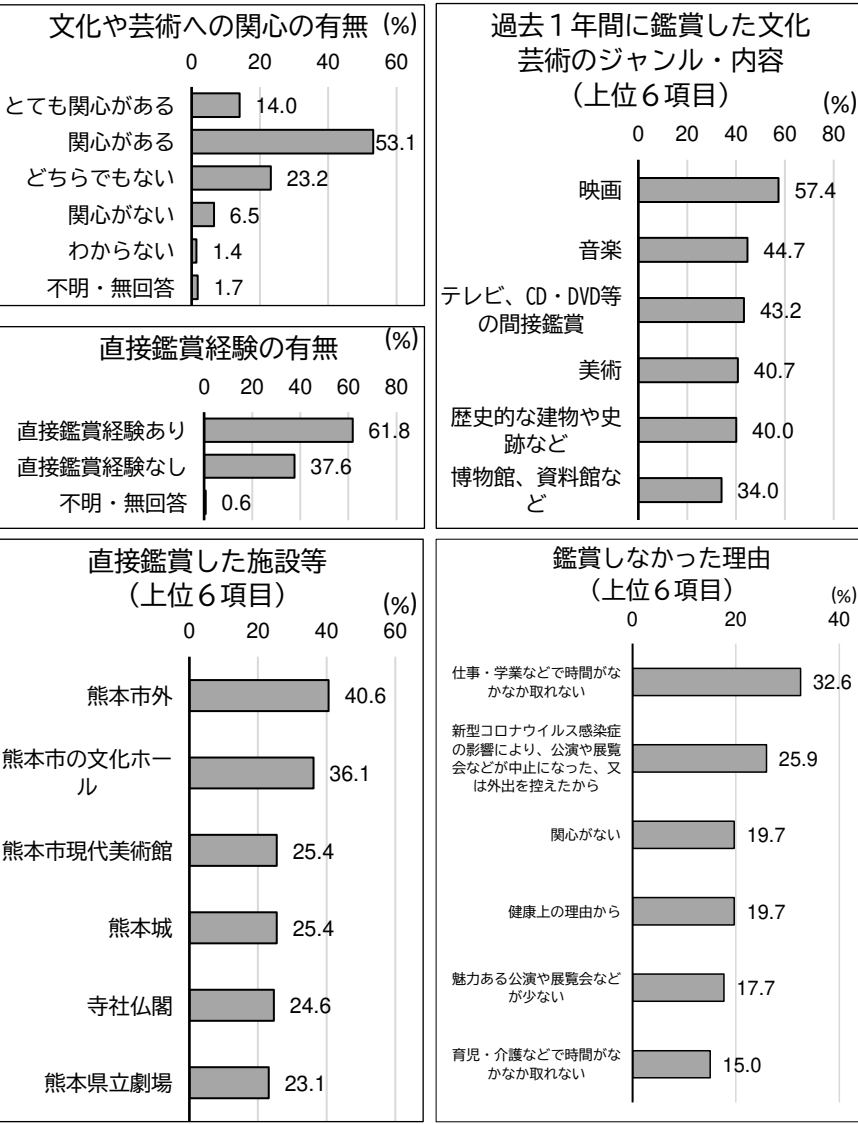
4. 回答者の基本属性

- 性別：「女性」60.0%。
- 年齢：「60 歳代」が 20.0%で最も大きく、次に「70 歳代」が 18.0%。「40 歳代」以上が8割以上。
- 居住地：「中央区」が 25.1%で最も大きく、次に「東区」が 24.9%。
- 居住年数：「40 年以上」が 43.6%で最も大きい。
- 同居家族の構成：「核家族（夫婦のみもしくは親と未婚のこどもの世帯）」が 65.3%。
- 同居している一番下の子ども：高校生以下の子どもと同居している人は 22.6%。
- 職業：「会社員」が 26.8%で最も大きく、次に「無職」が 25.1%。



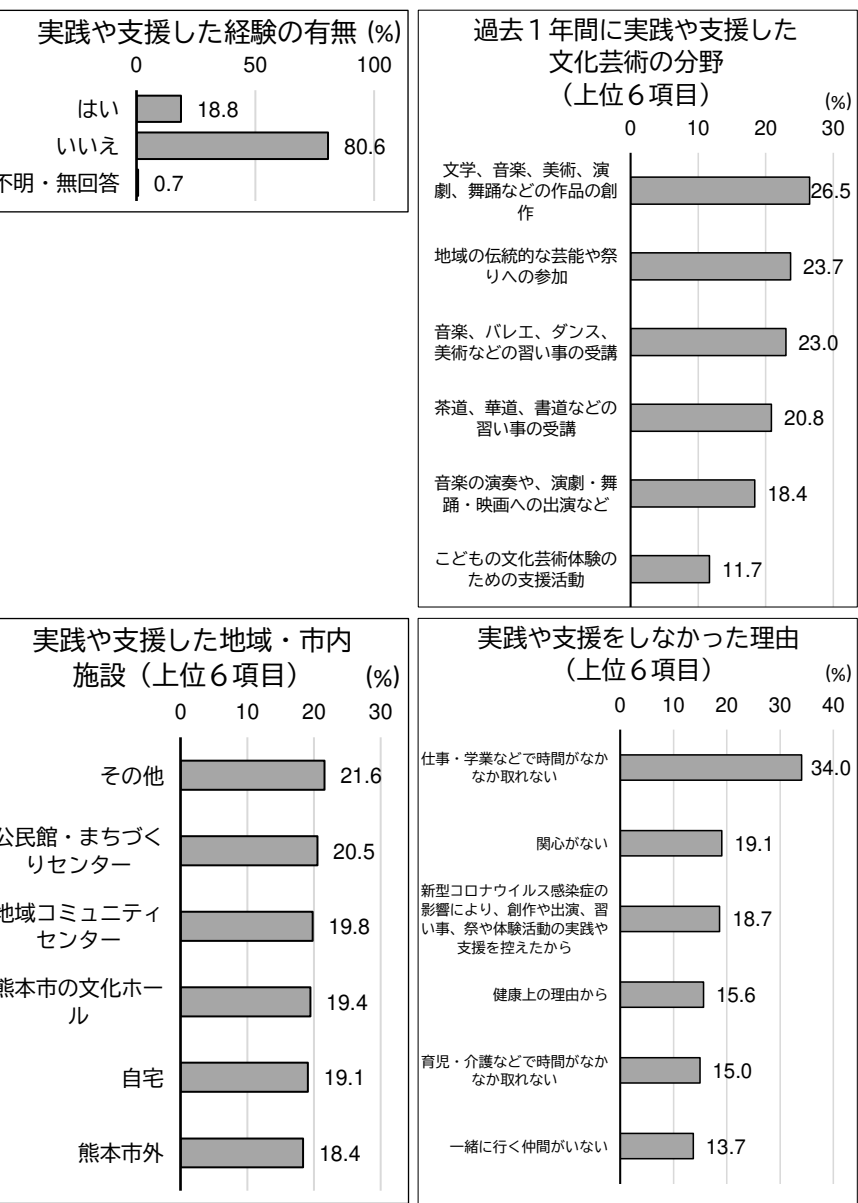
文化芸術の鑑賞活動について

- 文化や芸術への関心の有無：「とても関心がある」と「関心がある」の合計は 67.1%。
- 過去 1 年間の文化芸術の鑑賞経験（間接鑑賞を含む）の有無：「はい」が 62.6%。間接鑑賞等を除く「直接鑑賞経験あり」は 61.8%で、国（令和4年度）の 52.2%より大きい。
- 過去 1 年間に鑑賞した文化芸術のジャンル・内容：「映画」が 57.4%で最も大きく、次に「音楽」が 44.7%。
- 直接鑑賞した施設等：「熊本市外」が 40.6%で最も大きく、次に「熊本市の文化ホール」が 36.1%、「熊本市現代美術館」と「熊本城」が 25.4%、「寺社仏閣」が 24.6%。
- 鑑賞しなかった理由：「仕事・学業などで時間がなかなか取れない」が 32.6%で最も大きく、次に「新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから」が 25.9%、「関心がない」と「健康上の理由から」が 19.7%。



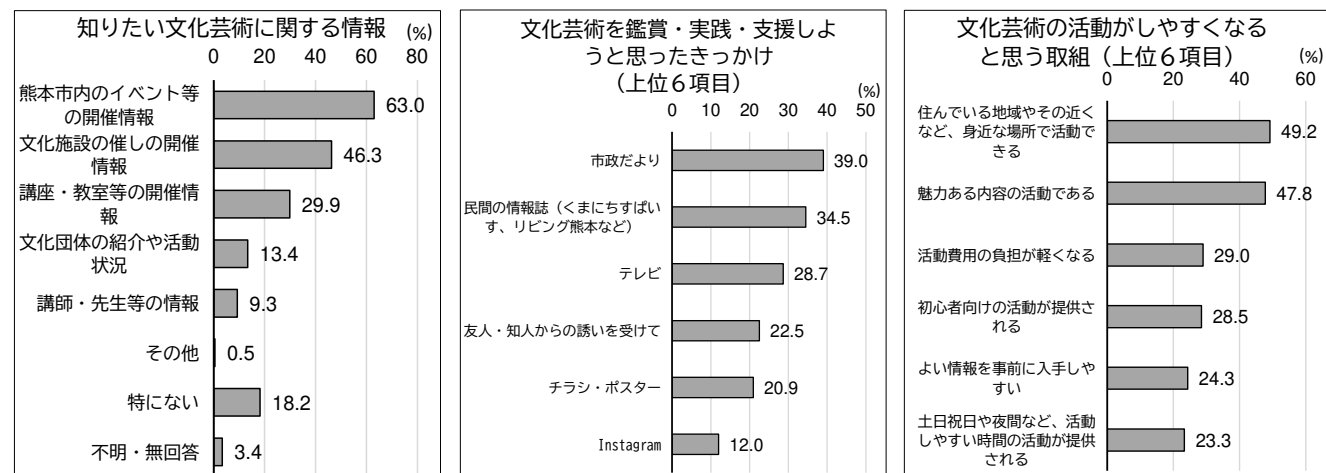
文化芸術の実践活動について

- 過去 1 年間の文化芸術の実践やボランティアとして支援した経験の有無：「はい」が 18.8%で、国（令和4年度）の 13.0%より大きい。
- 過去 1 年間に実践や支援した文化芸術の分野：「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」が 26.5%で最も大きく、次に「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」が 23.7%。
- 実践や支援した地域・市内施設：「その他」が 21.6%で最も大きく、次に「公民館・まちづくりセンター」が 20.5%。
- 実践や支援をしなかった理由：「仕事・学業などで時間がなかなか取れない」が 34.0%で最も大きく、次に「関心がない」が 19.1%、「新型コロナウイルス感染症の影響により、創作や出演、習い事、祭や体験活動の実践や支援を控えたから」が 18.7%。



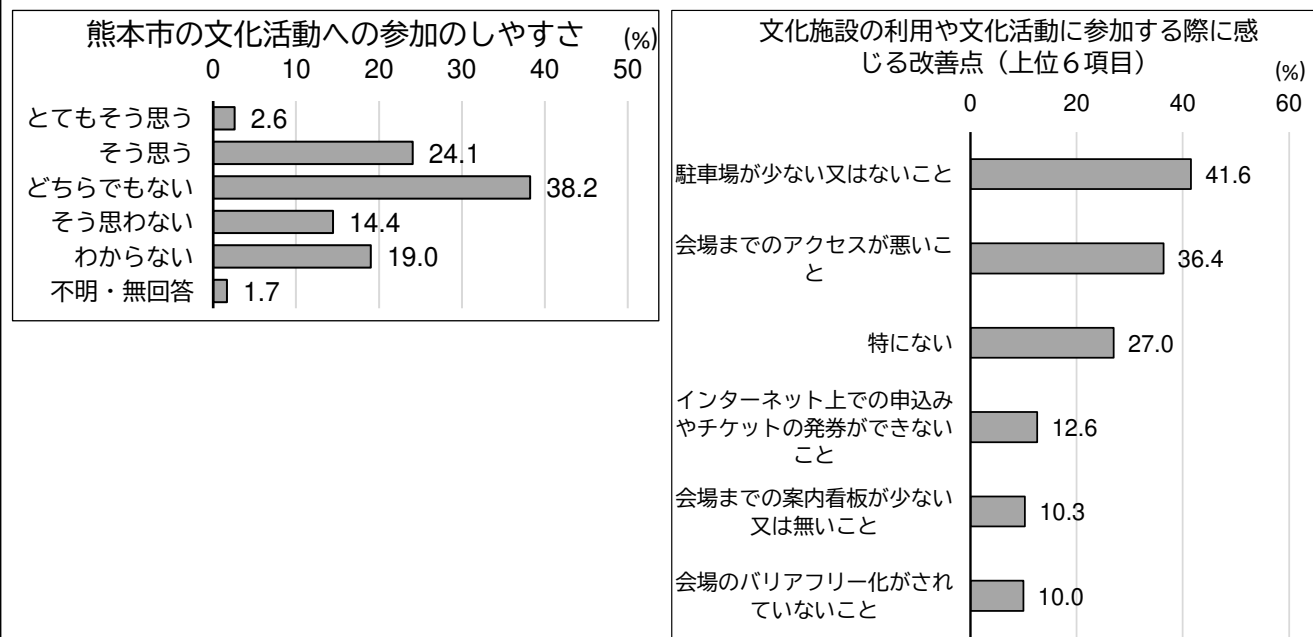
文化芸術の環境について

- 熊本市の文化的環境への満足度：「どちらでもない」が53.0%で最も大きい。「とても満足している」と「満足している」の合計は19.9%で、「不満である」の8.2%を上回っている。
- 知りたい文化芸術に関する情報：「熊本市内のイベント等の開催情報」が63.0%で最も大きく、次に「文化施設の催しの開催情報」が46.3%。
- 文化芸術を鑑賞・実践・支援しようと思ったきっかけ：「市政だより」が39.0%で最も大きく、次に「民間の情報誌（くまにちすばいす、リビング熊本など）」が34.5%。
- 文化芸術の活動がしやすくなると思う取組：「住んでいる地域やその近くなど、身近な場所で活動できる」が49.2%で最も大きく、次に「魅力ある内容の活動である」が47.8%。
- 熊本市の文化施設に期待すること：駐車場の整備や担当者の対応、高齢者や子どもへの配慮、コンサートや巡回美術展の誘致等への要望、熊本特有の文化的発信力の強化への期待など。



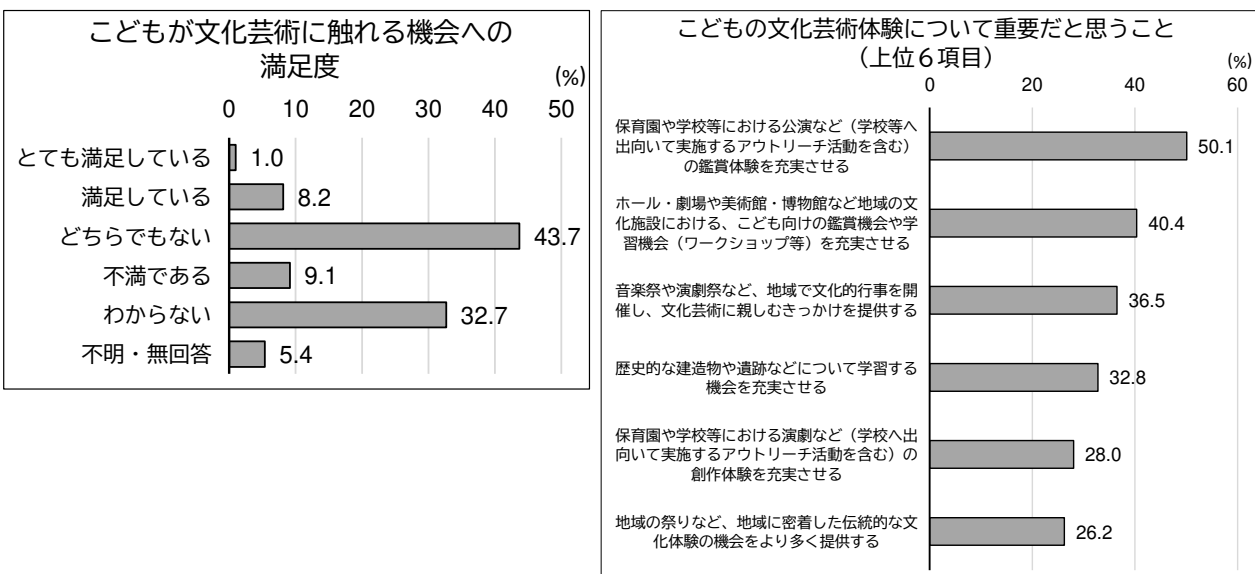
文化芸術を通じた共生社会の実現について

- 熊本市の文化活動への参加のしやすさ：「どちらでもない」が38.2%で最も大きい。「とてもそう思う」と「そう思う」の合計は26.7%で、「そう思わない」の14.4%を上回っている。
- 文化施設の利用や文化活動に参加する際に感じる改善点：「駐車場の少ない又はないこと」が41.6%で最も大きく、次に「会場までのアクセスが悪いこと」が36.4%。



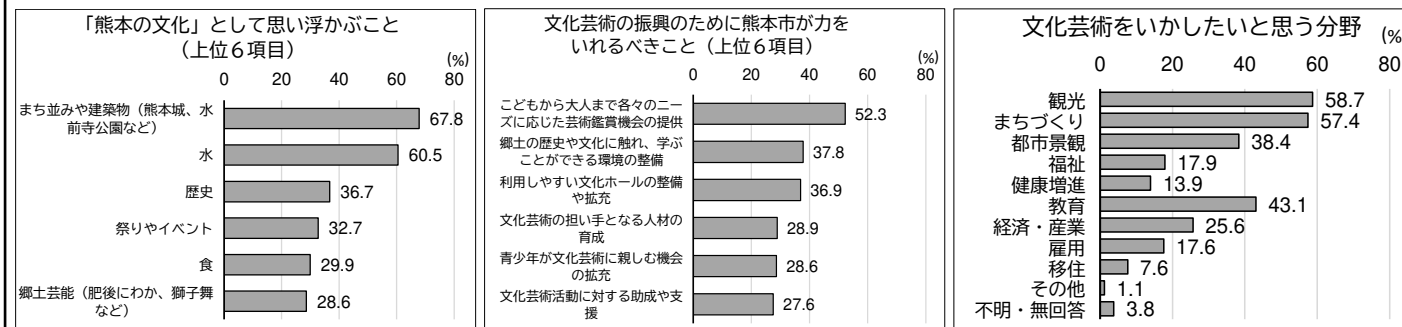
文化芸術の担い手の育成について

- こどもが文化芸術に触れる機会への満足度：「どちらでもない」が43.7%で最も大きく、次に「わからない」が32.7%。「とても満足している」と「満足している」の合計は、「不満である」と同じ割合（9.1%）。
- こどもの文化芸術体験について重要だと思うこと：「保育園や学校等における公演など（学校等へ出向いて実施するアウトリーチ活動を含む）の鑑賞体験を充実させる」が50.1%で最も大きい。



文化芸術の振興施策について

- 「熊本の文化」として思い浮かぶこと：「まち並みや建築物（熊本城、水前寺公園など）」が67.8%、「水」が60.5%と、ともに6割を超えている。
- 熊本市が「上質な文化都市」だと感じるかどうか：「どちらでもない」が34.4%で最も大きい。「とてもそう感じる」と「そう感じる」の合計は28.6%で、「そう感じない」の22.3%を約6%上回っている。
- 「上質な文化都市」からイメージするもの：「豊かな自然や歴史、文化に恵まれている」が54.3%で最も大きく、次に「市民が自分たちの暮らすまちに誇りを持っている」が48.8%、「市民が気軽に文化芸術を楽しんでいる」が42.9%と大きくなっている。
- 文化芸術の振興のために熊本市が力をいれるべきこと：「こどもから大人まで各々のニーズに応じた芸術鑑賞機会の提供」が52.2%で最も大きい。
- 伝統文化を保存し次世代に継承するために必要な取組：「市民が気軽に伝統文化に参加・鑑賞できる催しを実施する」が59.4%で最も大きく、次に「学校での伝統文化の鑑賞機会を充実させる」が52.5%。
- 文化芸術をいかしたいと思う分野：「観光」が58.7%で最も大きく、次に「まちづくり」が57.4%。



性別クロス集計

- 文化や芸術への関心の有無や過去1年間の文化芸術の鑑賞経験について、女性は男性より大きい。
- 文化芸術を鑑賞・実践・支援しようと思ったきっかけ：「民間の情報誌（くまにちすばいす、リビング熊本など）」、「友人・知人からの誘いを受けて」、「市政だより」について、女性は男性より大きい。

【文化芸術を鑑賞・実践・支援しようと思ったきっかけ】

項目	N=	男性	女性	その他	答えたくない	不明・無回答	全体
1 市政だより	562	32.6	43.1	25.0	31.6	47.4	30.0
2 ホームページ	562	5.3	5.3	25.0	0.0	0.0	5.2
3 民間の情報誌（くまにちすばいす、リビング熊本など）	562	26.2	40.2	0.0	21.1	31.6	34.5
4 文化芸術に関するウェブサイト	562	7.8	7.6	0.0	10.5	5.3	7.7
5 Instagram	562	9.3	14.0	0.0	5.3	5.3	12.0
6 X（旧Twitter）	562	5.9	7.0	0.0	5.3	0.0	6.4
7 Facebook	562	6.0	1.9	0.0	5.3	0.0	3.4
8 YouTube	562	8.7	5.2	0.0	0.0	5.3	6.4
9 LINE	562	6.2	6.0	0.0	5.3	0.0	6.0
10 TikTok	562	2.1	1.5	0.0	5.3	0.0	1.8
11 チラシ・ポスター	562	16.2	24.3	25.0	10.5	10.5	20.9
12 テレビ	562	30.6	28.4	0.0	10.5	10.5	28.7
13 ラジオ	562	8.0	7.6	0.0	0.0	5.3	7.4
14 友人・知人からの誘いを受けて	562	14.6	27.8	0.0	15.8	15.8	22.5
15 家族からの誘いを受けて	562	10.0	12.2	0.0	5.3	5.3	11.1
16 以前から継続的に活動しているから	562	4.3	8.0	50.0	5.3	0.0	6.4
17 その他	562	6.0	4.0	0.0	5.3	5.3	4.8
18 不明・無回答	562	10.7	6.5	0.0	15.8	36.8	8.5
合計	562	-	-	-	-	-	-

年齢別クロス集計

- 鑑賞しなかった理由：30～50 歳代は「仕事・学業などで時間がなかなか取れない」、30 歳代は「育児・介護などで時間がなかなか取れない」、80 歳代以上は「健康上の理由から」が5割を超えている。
- 実践や支援をした地域・市内施設：「その他」を除くと、20 歳代・60 歳代は「自宅」、30～50 歳代は「熊本市外」、70 歳代は「公民館・まちづくりセンター」と「地域コミュニティセンター」、80 歳代以上は「熊本市の文化ホール」が最も大きい。

【鑑賞しなかった理由（全体の上位6項目）】

構成比（%）	n=	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	不明・無回答	全体
1 仕事・学業などで時間がなかなか取れない	36	47.2	56.1	60.0	55.3	31.4	13.2	2.4	0.0	32.6
2 新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから	41	5.6	4.9	16.0	26.3	34.7	38.0	22.6	37.5	25.9
3 関心がない	75	30.6	12.2	18.7	19.7	21.2	18.2	20.2	12.5	19.7
4 健康上の理由から	76	0.0	2.4	2.7	6.6	16.1	59.5	12.5	12.5	19.7
5 魅力ある公演や展覧会などが少ない	118	16.7	22.0	22.7	22.4	18.6	19.0	4.8	12.5	17.7
6 育児・介護などで時間がなかなか取れない	121	11.1	68.3	20.0	14.5	12.7	3.3	8.3	0.0	15.0

高校生以下の子どもとの同居の有無別クロス集計

- 鑑賞した文化芸術のジャンル・内容：高校生以下の子どもと同居では、それ以外と比べて、「演劇」や「映画」、「博物館、資料館など」が大きい。一方、「伝統芸能」や「花展、盆栽展、茶会など」は小さい。
- 過去1年間に実践や支援した文化芸術の分野：高校生以下の子どもと同居では、「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」や「こどもの文化芸術体験のための支援活動」が大きい。
- 文化芸術活動を鑑賞・実践・支援しようと思ったきっかけ：高校生以下の子どもと同居では、「市政だより」「Instagram」が大きい。

【鑑賞した文化芸術のジャンル・内容】

構成比（%）	n=	高校生以下の子どもと同居	それ以外	不明・無回答	全体
1 音楽	246	44.7	45.1	38.6	44.7
2 美術	246	40.2	40.8	40.9	40.7
3 美術のうち、特に現代美術	246	11.8	10.2	4.5	10.4
4 演劇	246	15.9	11.5	9.1	12.5
5 舞踊	246	10.6	9.9	15.9	10.4
6 伝統芸能	246	5.3	9.5	22.7	9.0
7 演芸	246	8.5	9.6	18.2	9.7
8 花展、盆栽展、茶会など	246	10.2	20.0	20.5	17.5
9 食文化の展示、イベント	246	11.4	12.7	15.9	12.5
10 映画	246	61.4	56.6	47.7	57.4
11 歴史的な建物や史跡など	246	41.1	39.1	47.7	40.0
12 博物館、資料館など	246	45.1	29.5	38.6	34.0
13 地域の伝統的な芸能や祭り	246	11.8	10.2	18.2	11.0
14 テレビ、CD・DVD等の間接鑑賞	246	44.3	42.2	52.3	43.2
15 その他	246	1.2	1.4	0.0	1.3
16 不明・無回答	246	0.0	0.5	0.0	0.3
合計	246	-	-	-	-

職業別クロス集計

- 文化や芸術への関心の有無：「とても関心がある」と「関心がある」の合計は、家事専業、公務員、派遣・契約社員で7割を超えている。
- こどもの文化芸術体験について重要だと思うこと：どの職業でも、「保育園や学校等における公演など（学校等へ出向いて実施するアウトリーチ活動を含む）の鑑賞体験を充実させる」が最も大きい。次に大きいものは、自営業では「音楽祭や演劇祭など、地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供する」、学生では「地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する」、それ以外では「ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における、こども向けの鑑賞機会や学習機会（ワークショップ等）を充実させる」と異なる。

【文化や芸術への関心の有無】

構成比（%）	N=	会社員	公務員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	学生	家事専業	無職	その他	不明・無回答	全体
1 とても関心がある	405	16.3	13.3	16.0	25.6	14.9	16.7	13.6	8.7	23.1	9.5	14.0
2 関心がある	90	51.1	62.2	42.4	46.5	51.5	44.4	64.5	55.4	41.0	52.4	53.1
3 どちらでもない	125	24.4	16.7	18.6	27.7	25.0	16.6	23.7	25.6	25.6	4.8	23.2
4 関心がない	43	6.4	6.7	12.0	9.3	5.4	11.1	1.8	6.6	7.7	4.8	6.5
5 わからない	202	0.7	0.0	0.8	0.0	0.0	2.8	1.8	2.9	2.6	4.8	1.4
6 不明・無回答	36	1.0	1.1	1.6	0.0	0.5	0.0	1.8	2.6	0.0	23.8	1.7
合計	1,509	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

鑑賞・活動経験の有無別クロス集計

- 文化芸術の活動経験あり＞鑑賞経験だけあり＞活動・鑑賞経験なしの順に、現在の幸福度や現在の心身の健康状態、現在の社会的なつながりの平均値が下がっている。

